

4.10 暴力むきだしの破壊を再び粉碎!

『デマ』『暴力』『買収』などで動労千葉を破壊するマコトはできなかつた

一四〇〇名組合員のみなさん、全国四万八千の仲間のみなさん、昨日の、動労本部青年部を借称する革マル暴力集団に守られた、関東各地本役員と支部長を中心にした再度の破壊「オルグ」を完全に粉碎したことを明らかにする。

頭上に轟く正義の大演説に 意気消沈の革マル集団

津田沼支部へは村上、福原、長江ら二百名近い暴力集団が、電車区玄関に来たものの、わが完全防衛の前に立ち往生。同時に電車区全体に響きわたるスピーカーから流れる大アジテーションの前に完全に消耗しなんと「アジテーションをやめないうなら、十分後に中に入る」と当局に泣きつき、当局に権力の弾圧を要請し、支部組合員を排除させ、中に入ろうと腐れきった姿をさらけ出した。ふざけるな。ポリウムを上げ、声高らかに「来るなら来い。一切の制限をとりはらって完全に撃退する」と、戦闘宣言を発する。ところがどうだろう。なんとアリのパイのデモをやり、コソコソと引き上げるではないか。破壊「オルグ」を完全に粉碎した。

家庭への介入も次々と粉碎

千葉転支部は五味田岡ら百名の革マル集団が、暴力的介入をせんとしたが、執行部を先頭とした完全防衛の前に完全に撃退されてしまった。あわれなこと、彼らは「中に入れて下さいよ。話し合いて下さいよ」と泣きごとを言う始末。「ふざけるな」と言う組合員の怒りの前にだまっすまう。

最後に当局に頼んでなんとか中に入ろうとしたが、これも粉碎され、だまりこくって引き上げた。完全に防衛しぬいたのだ。

家庭への直接的介入も次々と撃退された。勝浦へは十人(二人一組)来たが支部組合員の闘いによって八人の革マル分子が「もう来ません」「まぢがったことをやった」とあやまる始末。偉大な勝利である。

組織破壊者の常とう手段

一〇〇%のデマ宣伝

彼らが以上のような暴力を背景になさんとしたことはなにか。

その第一は、デマ・ペテンで組合員をだまし、あぐくのはては金まで使って破壊せんとしたのである。「木更津支部は半分以上団結署名に反対している」「3・30臨大決定に大多数が反対している」とかの百%デマをとばし組合員を動揺させ、だまそうとしたのだ。

革マル暴力集団よ。木更津支部では百%近く団結署名が勝ちとられ、各支部とも着実に前進しているのだ。「仲間を裏切れ」「革マルの奴隷になれ」と暴力とデマで組合員を引きずりまわし、言うに言われぬ暗たんたる方向へ組合員を道づねにすることを一四〇〇名の誰が応じるといふのか!

われわれこそが唯一正統な 動労千葉地本

第二に、革マルが新組合結成団結署名になんとかケチをつけようとしていることである。「分裂組合『千葉動労』」とか「千葉動労か動労千葉かどちらなのか」などと批判したつもりになっている。はつきり言おう。われわれは現執行部のもつ一四〇〇名組合員によって構成された正統な動労千葉地方本部であることを。われわれは動労のなかで、動労大改革を必ずやなしとげ、同時に革マルによる「執行権停止」という上からの分裂攻撃による、一四〇〇名の生活と権利破壊に対して、あくまでも一四〇〇の利益を守るために、国鉄千葉動力車労働組合(略称動労千葉)を結成したので。一四〇〇名の選んだ執行部として、闘いぬいてきたゆえをもって「執行権停止」という攻撃をかけてきたことに対して一四〇〇名はこれを拒否して闘いぬくことを決定したことは当然ではないか。

全組合員のみなさん、十二日革マルの破壊「オルグ」を粉碎し、団結署名を成功させ、動労大改革にむかって前進しよう。

団結署名を全組合員貫徹しよう! 職場・家庭への攪乱介入粉碎!